

## アートの入口にも、探求の先にも ——岡山芸術交流に行くべき 4 つの理由

### 週末旅行に最適

岡山市は東京からは新幹線で約 3 時間 10 分、飛行機なら岡山空港まで約 1 時間 15 分。新大阪からは新幹線で約 45 分と、週末旅行にも適した距離です。「岡山芸術交流 2025」では、市内各地に展示された約 31 組の作品を 1 日で巡ることが可能。移動には市内の路面電車やバスが使える一日乗車券の利用がおすすめで、アートと街歩きを気軽に楽しむことができます。また、近年注目を集める瀬戸内アートの玄関口・起点としても、四国や広島エリアへのはしごアート旅が楽しめます。

### 瀬戸内のゲートウェイ！岡山がアートとつながる歴史的・文化的背景

岡山は江戸時代、池田家のもとで教育・文化が重んじられ、藩校「閑谷学校」や岡山後楽園の整備により学問と芸術が育まれました。岡山城を中心とした城下町は山陽道や瀬戸内海に面し、交通の要所として人や文化が交差。近代には林原や大原など実業家が文化を支援し、その土壌が今日に受け継がれています。こうした岡山で現代アートを見ることは、歴史と現代の創造が響き合う貴重な体験となることでしょう。

### 自然と隣接するコンパクトな街並み

岡山市の中心部は都市機能が充実しているながらも、自然の豊かさを感じられる環境が整っています。中心市街地からほど近い岡山後楽園は、日本三名園のひとつとして知られる広大な回遊式庭園で、四季折々の風景が楽しめます。また、旭川沿いには緑地や遊歩道が整備され、市民の憩いの場となっています。さらに、市街地を少し離れば里山や果樹園が広がり、自然との距離がとても近いのも岡山市の魅力。岡山芸術交流を街歩きして鑑賞するなかで、秋の豊かな自然を楽しんでいただけます。

### B 級からミシュランまで。気候と風土が育む多彩な食文化

岡山は「晴れの国」と呼ばれる温暖な気候に恵まれ、白桃やマスカットなど高品質なフルーツの産地として知られています。さらに瀬戸内海の新鮮な海の幸にも恵まれ、食材の豊かさは折り紙つきです。デミカツ丼やえびめしなどの B 級グルメは地元ならではの味わいとして親しまれる一方、地元食材を活かした懐石料理やフレンチ、イタリアンの名店も点在しており、県産フルーツや瀬戸内の海の幸を使った上質な料理を堪能できます。岡山芸術交流が開催される時期はシャインマスカット(6 月～11 月下旬)や新高梨(9 月中旬～11 月下旬)、イダゴ(9 月中旬～)、ハモ(6 月～10 月)、ワタリガニ(9 月初旬～12 月)、ママカリ(10 月～11 月)岡山かき(11 月～)が旬を迎えます。



写真提供:岡山県観光連盟

## 岡山芸術交流 2025 3 年に 1 度の国際現代美術展

アーティスティック・ディレクター: フィリップ・パレーノ / アーティスト

<岡山芸術交流実行委員会>

〒700-8544 岡山市北区大供一丁目 1 番 1 号(文化振興課内)

TEL:086-221-0033 | FAX:086-221-0031

E-MAIL:info@okayamaartsummit.jp

WEB:https://www.okayamaartsummit.jp/2025/



公式ウェブサイト Instagram